



医学部棟完成予想図 (2棟で構成)

2017年(平成29年)4月、成田キャンパスに医学部が新設します。国際性を重視し、グローバルスタンダードに対応した医学教育を行いながら、海外の医療協力でも活躍できる総合診療力を持った医師の育成をめざします。今後、国際医療・保健に貢献する人材育成・情報集積の拠点をめざす「公衆衛生専門職大学院」の開設を予定しているほか、2020年(平成32年)には近隣に、新しい附属病院として国際医療福祉大学成田病院を新設する予定です。

国際医療福祉大学 医学部の特長

グローバルスタンダードに対応した国際性豊かな医学教育モデルを実現し、高度で総合的な診療能力を身につけ、国の内外で活躍できる医師を育成します。

1. これまでにない水準の医学教育

- 世界水準を上回る、クリニカルクラークシップ(診療参加型臨床実習)を90週実施
- 大多数の科目で英語による授業を実施
- 6年次に全学生が4週間以上の海外臨床実習に参加
- 学生の7人に1人は留学生という国際的な学修環境
- カリキュラム編成や評価などを行う「医学教育統括センター」は、世界的にも類のない、専任教員25人で構成
- 医師国家試験対応の総括講義、24時間体制の専用学修室を整備

2. 第一線で活躍する国際経験豊富な教授陣

- 教員は国際的に活躍する各分野の第一人者
- 国際医療拠点にふさわしい外国人教員を多数採用
- 海外での臨床・教育経験の豊富な日本人教員を多数採用

- 開設年月：2017年(平成29年)4月
- 敷地面積：14,827m²
- 延床面積：47,107m²
- 定員：医学科 140名(うち留学生20名)



左：医学部 右：成田看護学部・成田保健医療学部 手前：公津の杜駅

3. 豊富な施設・設備を生かし、充実した実践教育、臨床実習環境を実現

- 5000m²を超える世界最大級の「医学教育シミュレーションセンター」を設置し、高度な総合診療能力を養成
- 4つの附属病院に加え、臨床医学研究センターという位置づけのグループ関連病院・施設を臨床実習に活用
- 200床の介護老人保健施設や在宅ケアセンターなどもあり、地域包括ケアシステムにも対応できる充実した臨床実習が可能
- 「感染症国際研究センター」を設置し、海外の新興感染症を含めた危機管理に対応

4. 国の内外で羽ばたく学生に広く開かれた門戸

- 学費は私立大学医学部で最も安い6年間で1,850万円を設定
- 医学部特待奨学生制度や教育ローンなど、手厚い学費サポート制度
- 国際医療・保健に貢献する人材育成・情報集積の拠点をめざす「公衆衛生専門職大学院」を開設予定

〈医学部棟〉

医学部棟は1期棟(6階建て、延床面積13,040m²)、2期棟(11階建て、延床面積34,067m²)を合わせ47,107m²の校舎を整備します。162人収容可能な階段講義室を4室、少人数教育を実施する約50教室、80人収容可能なパソコン教室2室、バーチャルスライド対応のマルチメディア実習室(顕微鏡実習室)などのほか、図書室には図書閲覧室(90席)や自習室(156席)も完備しています。さらに、以下のセンターを備えています。

■国際遠隔画像診断センター／2期棟の7階には、海外の大学・医療機関と接続して、病理診断や放射線診断などを行う国際的な遠隔画像診断センターを設置します。本学では2011年(平成23年)から、経済産業省の推進する国際医療交流事業の一環として、中国、ベトナム、ミャンマーなどで「遠隔病理・画像診断プロジェクト」を実施し、成功しています。

■学生健康管理センター／2期棟の1階には、学生の健康管理やメンタルサポートに関する施設として、学生健康管理センターを設置し、医師を配置します。

医学部棟フロア概要

| 階 | 2期棟 (2017年12月完成) | 1期棟 (2017年2月完成) |
|-----|-----------------------------------|--------------------|
| 11F | 国際会議室/レセプションルーム/レストラン | |
| 10F | 研究室/共同研究室 | |
| 9F | 研究室/共同研究室 | |
| 8F | 実験室/共同実験室 | |
| 7F | 実験室/国際遠隔画像診断センター/研究開発室 | |
| 6F | 実験室/研究室 | 研究室/共同研究室/教員室 |
| 5F | 感染症国際研究センター/大学院/セミナー室 | 講義室/実習室 |
| 4F | シミュレーションセンター | シミュレーションセンター |
| 3F | 自習室/図書閲覧室 | PC教室/語学教室/国際交流センター |
| 2F | 事務室/職員会議室/講義室 | 学生ラウンジ/書店/ロッカー室 |
| 1F | エントランスホール/学生健康管理センター/コーヒESHOP/機械室 | エントランスホール/実習室/守衛室 |

国際医療福祉大学医学部の国際性

医学の授業の多くを英語で行い、英語での診療やカンファレンス、議論などができる力を養います。そのため、教授陣には各国からの外国人や海外での診療・教育経験が豊富な日本人を多数採用しました。また、一学年の入学定員140名のうち20名を留学生として受け入れる、グローバルな学修環境も整っています。さらに、6年次で最低4週間にわたる海外臨床実習の必修化、世界最大級の「医学教育シミュレーションセンター」での最先端教育など、医学教育は世界医学教育連盟(WFME)の基準を上回るレベルです。

2020年、成田市に国際的な附属病院を新設予定！ 国際医療福祉大学成田病院



完成予想図

- 開設予定地：千葉県成田市畑ヶ田地区
- 病床数：642床
- 延床面積：約91,000m²

- 最新医療機器と優秀なスタッフをそろえ、充実したアメニティを備えた、国内のみならず、外国人にも最先端の医療を提供する世界基準のハブ病院をめざします。
- 成田は年間3,000万人が国際線を利用する国内最大規模の国際空港を擁するとともに、鉄道網や高速道路網が発達しており、近隣に開設する成田病院は広範囲から多くの患者を受け入れます。
- 海外の大学、医療機関との連携基地となる「国際遠隔画像診断センター」や「感染症国際研究センター」、「医療機器の国際研修センター」などを設置して、国際的な医療ニーズに対応するほか、日本の優れた医療技術を海外に展開します。
- 10か国に対応できるスタッフの配置やハラル食など各国の食事の提供、宗教関連施設の整備を予定しています。
- 既存の附属病院や関連施設とも連携しながら、2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックも見据え、国際都市・成田ならではの質の高い医療とサービスの提供をめざします。